

1 概況

各地区の摘採は、冷蔵網で1～5回目、後期冷蔵網では1回目、秋芽網では4～8回目を実施しています。植物プランクトンは先週から引き続き、少ない状況です。栄養塩は、知多西岸地区北部、島嶼部を除く知多東岸地区及び西三河地区で、かなり回復しました。知多東岸地区では多くの漁場で網上げが進み、島嶼部の一部の漁場では生産が終了しました。先週から暖かい日が続いていますが、気温が下がるのは、来週の木曜日以降となりそうです。今後1週間は、水温が停滞し、あかぐされ病の拡大が懸念されることから、適切な干出や早期摘採等による網管理を心がけ、少しでも長い期間摘採できるよう努めてください。

2 気象・海況

<水温> 2月21日

2～3号 ブイ平均 (-3.5m)	日平均水温	10.1℃
	平年差	+2.5℃

<水温> 2月22日

漁生研 (-1.0m)	10時水温	10.9℃
	平年差	+1.0℃

<潮位偏差> 2月21日

名古屋港	日平均偏差	+6 cm
	5日平均偏差※	+4 cm

※2月17日～21日までの平均

<栄養塩・赤潮> (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西岸地区	北部:多い、中部やや多い～やや少ない、南部:少ない	なし	植物プランクトンは散見
知多東岸地区	島嶼部以外:多い、島嶼部:少ない	なし	植物プランクトンは散見～少ない
西三河地区	多い～やや少ない	なし	植物プランクトンは散見
東三河地区	本年度の調査終了		

※栄養塩基準(単位: $\mu\text{g/L}$) 多い:121～、やや多い:81～120、やや少ない:41～80、少ない:～40

※植物プランクトン基準(単位:細胞/mL) 多い:10,000～、やや多い:5,000～10,000、少ない:1,000～5,000、散見:100～1,000、ほとんどいない:～100

<気温動向の予測> (気象庁週間予報より 予報期間:2月23日から3月1日まで)

今後1週間	最高気温と最低気温はともに、平年並か平年より高い日が多いでしょう。
-------	-----------------------------------

3 クロノリ養殖状況

地区	摘採回数	1網当たりの生産枚数	製品	食害	病障害その他
知多西岸地区	冷蔵:1～6回 後期冷蔵:1回	300～1,000枚	色調はまずまず 一部で色調低下	一部でカモ	あかぐされ病散見 一部で秋芽生産
知多東岸地区	秋芽:5～8回 冷蔵:1～3回	400～2,000枚	色、伸びともに 良くない	なし	病障害なし
西三河地区	冷蔵:5回	500～800枚	製品はまずまず 一部で色調低下	なし	病障害なし
東三河地区	秋芽:4～5回	2,000枚	一部でガサ、色調 低下がみられる	一部でカモ	病障害なし

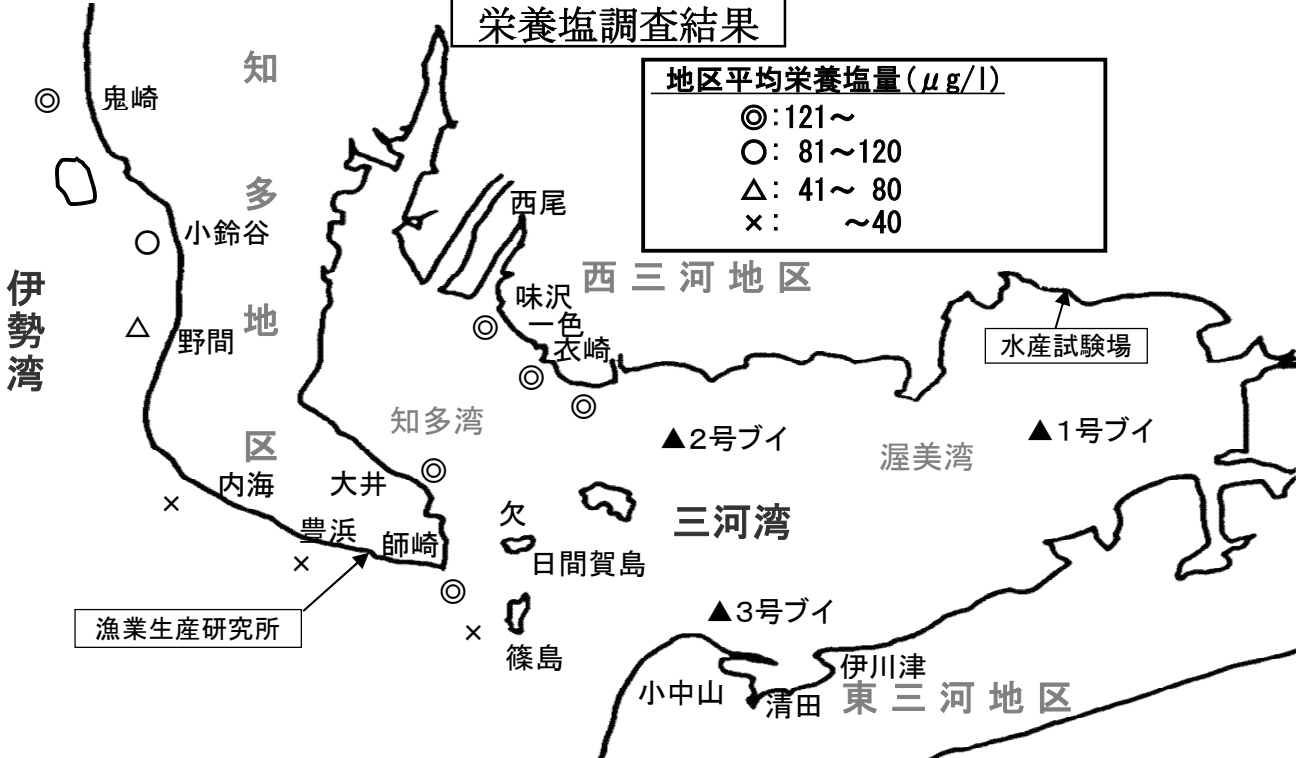
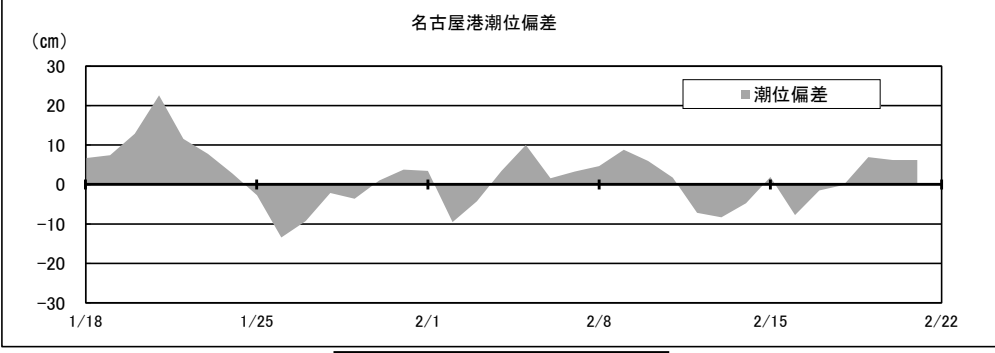
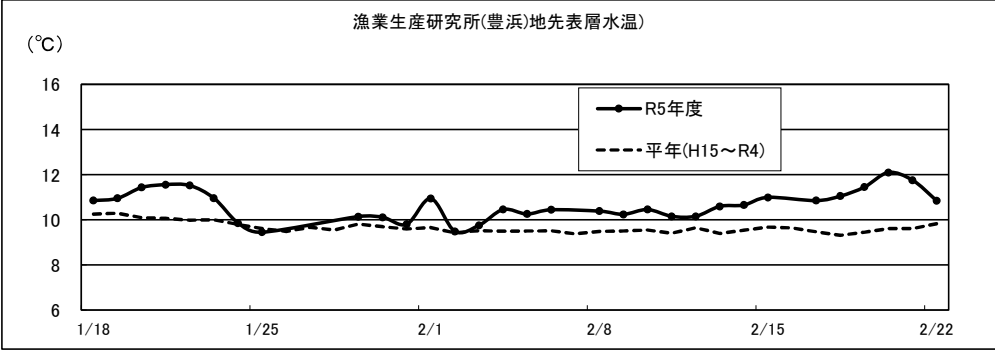
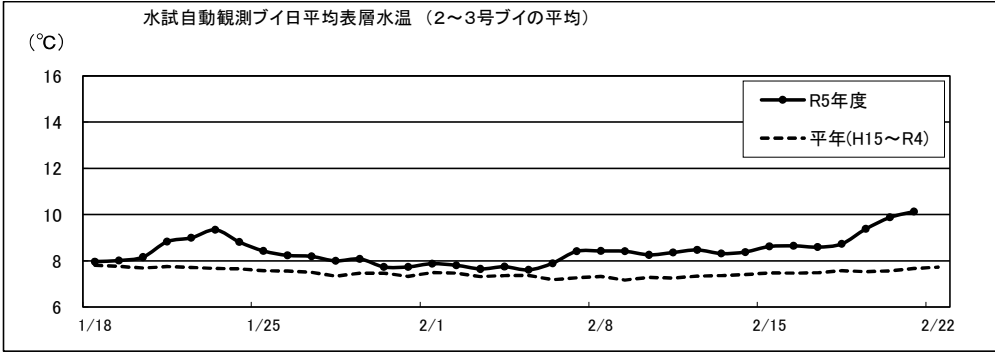
4 今後の管理

- あかぐされ病蔓延防止のため、適正な干出と早期摘採を心がけ、製品の向上に努めること。
- 製品の選別及び異物の検査を厳正に行うとともに、衛生管理に努めること。

水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測ブイ情報」は、インターネット上で閲覧することができます。水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ
令和5年度の「のり養殖情報」は次回で終了予定です。

伊勢湾・三河湾海況データ



栄養塩調査日：知多、西三河：2月22日（木）、東三河：調査終了
 調査機関：知多のり研究会、西三のり研究会、東三のり研究会